

## 平成26年度の主な事業一覧

## 全地区（2・3ページ）

01. 予防接種の実施
02. 子ども・子育て会議の開催
03. 移動図書館車運行業務の委託
04. 保育所の運営
05. 登別・白石・海老名友好交流事業
06. コミュニティスクール活動支援事業
07. 防災行政無線（同報系）整備事業
08. 除雪対策の実施

## 幌別・登別・登別温泉各地区（4・5ページ）

09. 地獄谷木道改修事業
10. 高規格救急自動車の更新
11. エゾアワビ種苗放流事業補助金
12. キウシト湿原緑地保全事業
13. 岡志別の森運動公園施設の整備
14. エゾシカ有効活用推進事業  
（緊急雇用創出推進事業・起業支援型地域雇用創造事業）
15. 商店街活性化事業

## 鷺別地区（6・7ページ）

16. 鷺別小学校建て替え事業
17. 中学校耐震化・改修事業
18. 道路排水対策（雨水対策）事業

※各地区の事業には、周辺の地域で実施しているものを含みます。

## 予防接種の実施 01

予防接種法に基づき、感染症予防、発病予防、病状の軽減、病気のまん延防止などを目的に、インフルエンザやBCGなど14種類の予防接種を実施しています。

- ▶平成26年度事業費 1億1,835万3,000円
- ▶問い合わせ 健康推進グループ（☎0100）

## 子ども・子育て会議の開催 02

平成27年4月からの『子ども・子育て支援新制度』施行に向け、市が保育施設などの利用定員を定めたり、市町村子ども・子育て支援事業計画を策定したりするときの協議のほか、支援施策が地域の子ども・子育て家庭の実情やニーズを踏まえているかなどを調査審議するための会議を行っています。

- ▶平成26年度事業費 58万2,000円
- ▶問い合わせ 子育てグループ（☎5634）

## 特集 平成26年度市の仕事

## 歩み続けるまち

## 住みよいまちづくりのために



市は、わたしたちのまち『のぼりべつ』が、市民の皆さんに愛され、ともに暮らす喜びを見いだせるまちになるよう、さまざまな事業を進めています。

今号では、平成26年度に市内で行われた主な市の事業の経過をお知らせします。

## 移動図書館車 運行業務の委託 03

移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託しています。皆さんが地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることで、教育文化の向上を目指します。平成24年度に比べ、平成25年度の貸出冊数は282冊増の27,261冊となっています。

- ▶平成26年度事業費 419万3,000円
- ▶問い合わせ 市立図書館 (☎⑤4324)



## 保育所の運営 04

保護者の家庭と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図るため、保育所の運営管理、保育所広域入所委託、登別保育所の運営管理業務委託、延長保育の実施、休日保育の実施などを行っています。

- ▶平成26年度事業費  
1億4,411万2,000円  
(うち、道の補助金61万3,000円)
- ▶問い合わせ 子育てグループ (☎⑤5634)



## 登別・白石・海老名 友好交流事業 05

トライアングル交流宣言を調印した白石市・海老名市との行政間交流のほか、友好交流促進のため、補助金を交付して、登別市姉妹都市等都市間交流協会が行う積極的な民間交流を支えています。

昨年12月29日には、同協会ほか7団体の連名で、『海老名市との姉妹都市締結に向けての要望書』が市長・市議会議長に提出されました。

- ▶平成26年度事業費 471万2,000円
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎⑤1130)

## コミュニティスクール 活動支援事業 06

学校・保護者・地域が一体となった新組織である『コミュニティスクール』の活動を支援・推進することで、三者の意見が反映される『地域と共にある学校づくり』を目指します。

主に、学校運営に関する会議の開催、地域人材バンクの活用（登下校時の見守り隊、放課後学習サポートなど）、自然・社会体験行事などの地域連携活動事業を行っています。

- ▶平成26年度事業費 60万円
- ▶問い合わせ 学校教育グループ (☎⑤1162)



▲スポーツを通じた児童の友好交流も活発になっている（登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業）



▲『海老名市との姉妹都市締結に向けての要望書』を市長に提出する登別市姉妹都市等都市間交流協会などの団体の代表者（右）

## 防災行政無線（同報系） 整備事業 07

災害時の情報伝達の強化を図るため、音声放送を行う屋外拡声子局の増設や大きな音響を発するモーターサイレンを海岸沿いに設置するなど、防災行政無線の整備を行っています。

※同報系とは、同時に複数の相手に通報する無線系統のことです。

- ▶平成26年度事業費  
4億8,702万9,000円  
(うち、市債4億8,700万円)
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎⑤1130)



## 除雪対策の実施 08

除排雪や凍結防止剤の散布など、冬期間の市道管理を適切に行い、歩行者や通行車両の安全を確保します。

- ▶平成26年度事業費  
5,500万円
- ▶問い合わせ 土木グループ (☎⑤3260)



## 地獄谷木道改修事業 09

硫黄や風雪・雨により全体的に劣化が進んでいた木道を、市民や観光客に安全・安心に利用してもらうため、昨年9月に改修工事を行いました。

▶平成26年度事業費 416万8,000円

▶問い合わせ 観光振興グループ (☎④2018)



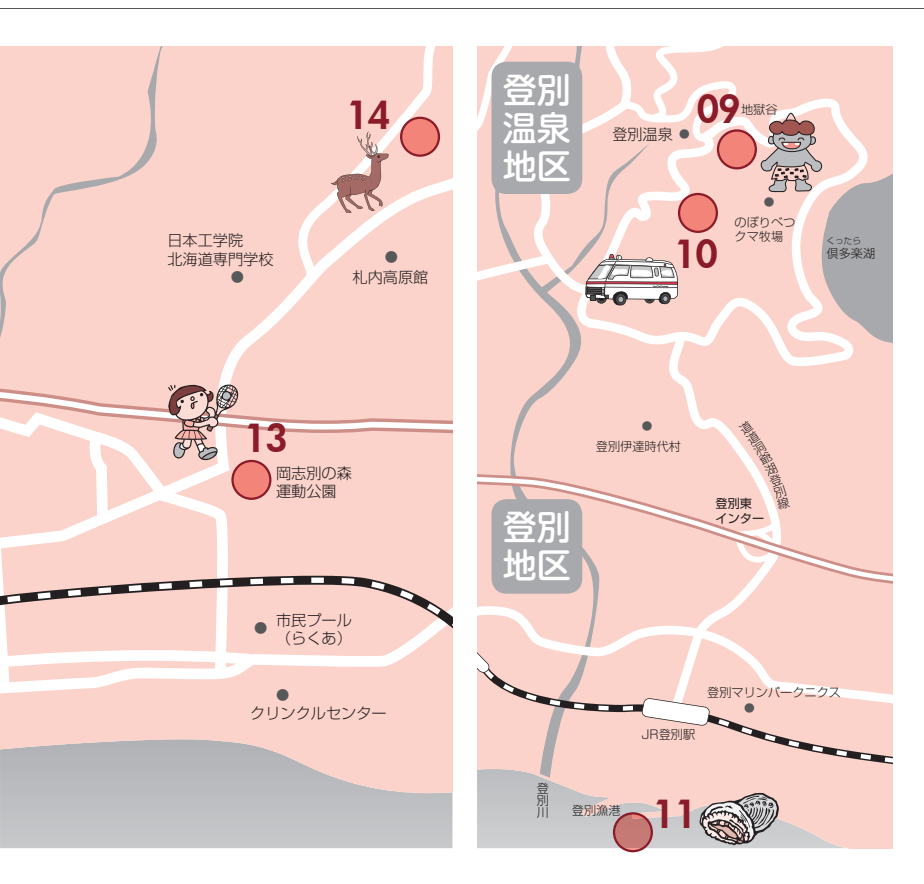
▲改修前の木道 (工事対象の一部)



▲改修中の木道



▲改修後の木道



## 高規格救急自動車の更新 10

登別温泉支署の高規格救急自動車が老朽化していることから、新たに更新します。これにより、救急体制が充実し、安心・迅速な搬送や救命措置を図ることができます。

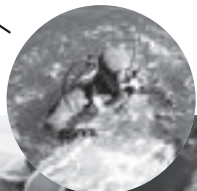
▶平成26年度事業費 3,500万5,000円 (うち、市債3,440万円)

▶問い合わせ 消防本部総務グループ (☎⑤9611)



▲2月に配備される高規格救急自動車

潜水して捕ります



▲種苗の放流作業

▲放流後調査で大きさを測るために捕ったエゾアワビ

## エゾアワビ種苗放流事業補助金 11

試験的にエゾアワビの人工種苗を登別市周辺海域に放流し、生息環境や放流後の成長などの調査を行う、いぶり中央漁業協同組合に対し、事業費の一部を補助し、『つくり育てる漁業』、『新しい資源づくり』を推進しています。昨年10月には、試験的にエゾアワビの初水揚げを行いました。

▶平成26年度事業費 32万4,000円

▶問い合わせ 農林水産グループ (☎⑤2321)



## キウシト湿原 緑地保全事業 12

キウシト湿原の保全と利活用を図るため、管理棟の建設や管理棟周辺の整備（アスファルト舗装や木製の柵・案内板の設置など）を実施しました。

管理棟の建築面積は81平方メートルで、多目的室やトイレなどを備えており、バリアフリーに配慮して整備しました。

▶平成26年度事業費 3,270万円（うち、国の補助金1,550万円、市債1,450万円）

▶問い合わせ 都市計画・公園グループ  
(☎☎ 4 1 1 5)



▲完成したキウシト湿原の管理棟



## 岡志別の森運動公園 施設の整備 13

施設利用者の利便性向上のため、自由に使用できる休憩施設を整備しました。

平成27年4月のオープンを予定しています。

▶平成26年度事業費 1,743万2,000円（うち、市債1,300万円）

▶問い合わせ 社会教育グループ (☎☎ 1 1 2 9)



▲休憩施設（外観）



▲休憩施設（内部）

## エゾシカ有効活用推進事業（緊急雇用創出推進事業・起業支援型地域雇用創造事業） 14

エゾシカ肉の有効活用の体制づくりと雇用の場の創出を行い、新たな地場特産物の開発と地域経済の活性化を図りました。昨年は、エゾシカ肉の卸売りや缶詰販売を実現しました。

▶平成26年度事業費 796万2,000円（うち、道の補助金796万2,000円）

▶問い合わせ 農林水産グループ (☎☎ 2 3 2 1)



▲エゾシカ肉の缶詰



▲解体処理施設

## 商店街活性化事業 15

市の指定区域の空き店舗を活用して、新たに事業を行う方へ補助をする『空き店舗活用事業』や、商店会などを対象に、商店街のにぎわい創出に向けた事業経費の一部を補助する『商店街活性化支援事業』を行っています。平成26年度は、幌別駅前前の空き店舗入居者や登別駅前前のベンチ設置事業などに補助金を交付しました。

▶平成26年度事業費 721万8,000円

▶問い合わせ 商工労政グループ  
(☎☎ 2 1 7 1)



▲『空き店舗活用事業』を活用した店舗



# 鷺別小学校建て替え事業 16

鷺別小学校校舎は、建物の老朽の程度を調べる耐力度調査により危険建物に、体育館は耐震診断により耐震補強が困難な建物であると判定されました。そのため、鷺別小学校校舎と体育館の建て替えを行うこととしました。

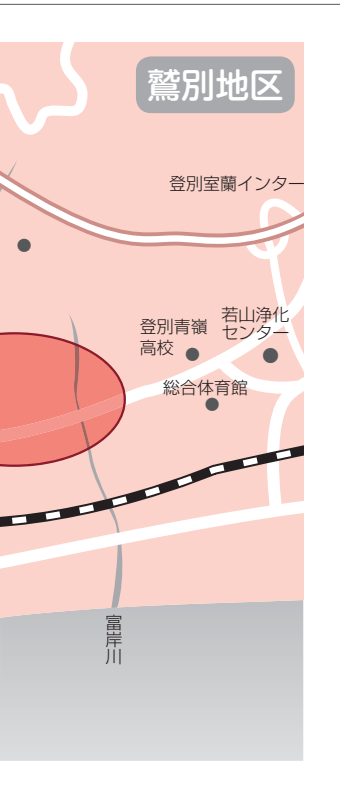
平成26年度は体育館の建て替えを進め、平成27年度からは校舎の建て替えに着手し、平成28年度に完成する予定です。

▶平成26年度事業費 5億5,168万9,000円（うち、国からの補助金2億8,132万円、市債2億7,030万円）

▶問い合わせ 教育委員会総務グループ  
(☎ 1100)



▶▶体育館の建て替え工事



▶ (鳥瞰図)

## 鷺別小学校改築の基本的な考え方

### ●学校施設としての機能の充実

使いやすい機能や少人数学習など、時代の変化に対応した学習活動機能を有する多目的教室などの設置

### ●地域の防災機能を備えた施設

高台まで避難が間に合わない場合に緊急的に避難する津波避難ビルとしての機能、屋上までの屋外非常階段の設置、備蓄庫の設置

### ●地域コミュニティを高める施設

学校教育の場としてだけではなく、地域住民の文化・スポーツ活動、世代間交流の場など、地域との活動の場となるような地域ボランティア室・多目的ホールの設置

### ●再生エネルギーの活用（太陽光）

校舎屋上での太陽光パネルの設置による、再生可能エネルギーの活用や児童の環境学習での活用



▲建て替え後の鷺別小学校の完成予想図（外観図）

## 今後の事業計画（予定）

平成26年度	体育館の建て替え
平成27年度	旧体育館の解体
平成27・28年度	校舎の建て替え
平成29年度	旧校舎の解体、グラウンド整備、外構工事

## 建て替え後の鷺別小学校（概要）

	構造	面積	階数	地上から屋上までの高さ
校舎	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	5361.53㎡	4階	15.65m (海拔約21m)
体育館	鉄筋コンクリート造	1,118.09㎡	2階	11.85m (海拔約17m)

## 中学校耐震化・改修事業

17

学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時は地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全・安心な教育施設の整備を進めています。

平成26年度は、地震に対して倒壊などの危険性がある鷺別中学校校舎の耐震補強や外壁改修、トイレの洋式化などの整備を行いました。

▶平成26年度事業費 2億4,539万1,000円（うち、国からの補助金8,639万7,000円、市債1億5,890万円）

▶問い合わせ 教育委員会総務グループ（☎⑧1100）



▲耐震化工事を終えた校舎（鷺別中学校）

## 市内における耐震化が必要な学校施設数

小学校6校（幌別西、登別、富岸、幌別東、青葉、鷺別各小学校）、中学校2校（幌別、登別各中学校）の校舎の耐震化が必要となっています。

体育館の耐震化は、現在、工事中の鷺別小学校体育館の完成をもって、全て完了します。

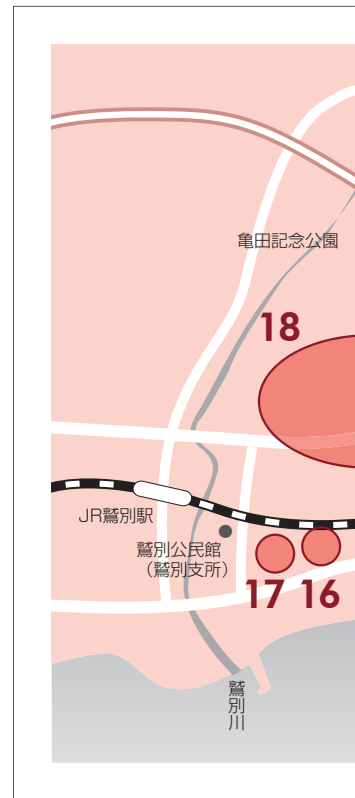
平成26年度からは、鷺別中学校を皮切りに、校舎の耐震化工事に着手しており、平成32年度までに8校全ての小・中学校の耐震化を完了することを目標としています。



▲校舎内部の耐震化工事（鷺別中学校）



▲耐震化工事を終えた体育館（登別小学校）



## 道路排水対策（雨水対策）事業

18

大雨に伴う道路冠水多発地域（若草町、新生町など）を対象に、排水路の改修や排水ポンプの増設、既設排水路の清掃などを実施し、道路冠水による交通障害の軽減を進めています。

▶平成26年度事業費 2億1,147万円（うち、市債1億6,640万円）

▶問い合わせ 土木グループ（☎⑧3260）



▲既設排水路の清掃作業



▲道路排水対策（雨水対策）工事